

ぼくと  
あのこの夢

絵本・小説作家  
むっちゃん

幸せが届きますように





# 目次

ぼくとあの子の夢 . . . . .	1
--------------------	---



## ぼくとあの子の夢

ぼくとあの子の夢

文：むっちゃん

あの子に出会ったよ。  
ふたりは、なりたい夢を語った。  
女の子が話したなりたいわたしとは・・・

ぼくはそら。いつも泣き虫でおっちょこちよいなぼく。  
ぼくはこの最近やりたいことって何だろうって  
思う毎日。やりたいことあり過ぎて分からないんだ。  
やりたいことばかり・・・どうしよう

ある日ぼくは町はずれの展望台に行って  
ベンチに座って今日も悩んでいた。  
その時あいちゃんが近寄ってきました。  
あいちゃんは、ぼくの小学校の同じ学年の子  
です。そらくんは恥ずかしく  
あいちゃんを気にしています。

そらくんは勇気をだして  
あいさつをしました。  
おはよう、きょうは良い天気だね。  
ふたりは照れながらとなりに座った。

あいちゃんがそらに話しかけた。  
ここでなにしてるの？  
くらい顔してたけど。

そうすると、そらは、あいちゃんに  
夢を語った。

ぼくは、アイスクリーム屋さんに

なりたいんだ。  
おまわりさんになりたいんだ。  
宇宙飛行士やもっともっと  
やりたいことがあるんだ。  
けどなりたい夢がわからないんだ。

そうするとあいちゃんがそらに話しかけました。

そらくんなんで夢を大きくするの？  
いまのまんまでよくない？。  
そんなことばをあいちゃんがいました。

そらは、あいちゃんに聞きました。

あいちゃんはどんな夢があるの？。

あいちゃんは、青空をゆびさしてこう  
語りました。  
わたしね天使になることがゆめなの。  
天使になって大空を走りまわって  
笑いながら遊ぶことだよ。  
天使になったら「つらいことも」  
「いじめられることも」・・・ないから。

わたしはね  
もうすぐ「天使に」なるの。

だからだからかみさまに まいにち  
天使になれますようにって  
お祈りしているのよ。

あいちゃんがつぎに話した。  
「夢って」なんのためにあるの？  
なんのために夢叶うまで走り回らないと  
ダメなの？ かな。

夢は誰かに幸せになってもらうことじゃないの？。

だれかのそばに居てあげることじゃないのか？

わたしは、あともう少しで  
雲の上に行くの  
だからここに来て  
あおぞらに幸せの絵を描くのね  
だからみんな「わらってほしいの」  
「しあわせいっぱいいてほしい」  
みんながしあわせで生きていけるように。

青空を見て 幸せの絵見える？ 幸せの絵見える？。

ぼくみえるよあいちゃんが描いた絵が見えるよ。  
そらの瞳から大粒の涙があふれていた。

ぼくのゆめは、自分だけが  
楽しく生きるためだった  
そらくんは「みんなのため  
ある夢に向かうようになった。

それは絵本作家、小説家になることだ。

絵本や小説は無限にあるからこそ  
みんなを幸せに一緒になれるから。

あいちゃんありがとう

---

ぼくとあのこの夢

---

著 者 青空 睦実

制 作 Puboo  
発行所 デザインエッグ株式会社

---